

建築文化奨励賞

景観に配慮した建築物

光と風の小集落

船橋のミニ戸建て開発

建築主：株式会社 アール・エイジ
設計：有限会社architecture WORKSHOP
設計：株式会社空間研究所
施工：阿部建設株式会社
施工：大秀建設株式会社
所在地：船橋市海神2-2-20



外観

JR総武線に隣接する150坪ほどの宅地を5分割して建てられたミニ開発の住宅である。表彰作品はその内の4戸であり、中央に挿入された進入道路を囲んで配置されている。各戸と進入道路の間には塀や柵がなく、同一の舗装なので、広場を中心にした小さな集落を思わせる空間が生みだされている。

ミニ開発は、細分化された敷地いっぱい住宅を詰め込み、密集市街地の環境をさらに悪化させ、景観の混乱に拍車をかける元凶になってきた。しかし、この開発は4つの区画を一体的に扱うことによって、建て込んだ住宅地に光と風を導き入れ、新しい景観を創出している。

線路側の2戸は、ガラス面を大きくとった1階の上に2層のパティオハウスを載せた構成をとり、北側の2戸は、鉄筋コンクリート造の1階の上に集成材パネルによる箱状の2階を載せている。いずれもデザインの質が高く、若い世代に新しいライフスタイルを提示する魅力ある住宅である。しかし、他の世代にとっては住みこなすのがむずかしい、対象の限定された住宅とも言えよう。

なお、この開発は波及性をもつモデルとしても期待されるが、5番目の区画にまったく異質なプレファブ住宅が建っているのはその点で残念である。
(北原理雄)



C棟



A棟